

2025年2月20日
道南バス株式会社

路線バス(乗合バス)の運賃改定について
(苫小牧市内線を除く)

道南バス株式会社(本社:北海道室蘭市、代表取締役社長 長谷川義郎)では2024年1月26日国土交通省北海道運輸局に路線バス運賃の上限運賃改定認可申請を行い、2025年2月20日付で認可を受けましたので、下記の通り運賃改定を実施いたします。ご利用のお客様にはご負担をおかけしますがご理解賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 申請理由

弊社の乗合バス事業を取り巻く状況は極めて厳しい状況となっております。コロナ禍によって生活様式も変わり、なお且つ北海道においては観光客の旅行形態も変わり運送収入もコロナ前の水準に戻ることは今後も見通すことが困難であると予想されております。

このような状況下において、『2024年問題』も重なり従業員不足が深刻化しており、今後、担い手を確保するため、賃金・労働条件や職場環境の改善、定着促進に向けた取り組みが重要と考えております。

また、コロナ禍で投資を抑制したこともあり、老朽化が進んでいる車両・施設についても、計画的な代替を行い、お客さまの利便性向上のためにもキャッシュレス化の機器導入などを進める必要があります。しかしながら、これらに必要なコストを吸収することは、不断の経営努力をもってしても極めて困難であり、将来にわたって地域の公共交通機関としての使命を果たすためには、運賃改定により収支改善を図るほかないものと判断しました。

なお、弊社の運賃は、消費税率引き上げによる改定を除き、1996年9月1日以来29年振りとなります。

諸事情ご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

2. 改定概要

(1) 運賃改定実施日 2025年4月1日

(2) 運賃改定実施エリア

道南バス株式会社の全線

ただし、苫小牧市内線、高速都市間バスの一部、協議運賃の区域を除く

(3) 改定上限運賃の平均改定率 11.51%

(4) 運賃比較表

A) 特殊運賃区間運賃比較表

	片道運賃		通勤定期券(1ヶ月)		通学定期券(1ヶ月)	
	現行	改定後	現行	改定後	現行	改定後
1区	210円	<u>230円</u>	9450円	<u>10,350円</u>	7,560円	<u>8,280円</u>
2区	250円	<u>280円</u>	11,250円	<u>12,600円</u>	9,000円	<u>10,080円</u>
3区	290円	<u>320円</u>	13,050円	<u>14,400円</u>	10,440円	<u>11,520円</u>
4区	320円	<u>360円</u>	14,400円	<u>16,200円</u>	11,520円	<u>12,960円</u>
5区	340円	<u>400円</u>	15,300円	<u>18,000円</u>	12,240円	<u>14,400円</u>

※室蘭市内の、「みたら・水族館」、「鷺別」、「上鷺別入口」、「中島入口」、「仲通」の停留所を囲む範囲。

B) 対キ口区間運賃比較表

	片道運賃		通勤定期券 (1ヶ月)		通学定期券 (1ヶ月)	
	現行	改定後	現行	改定後	現行	改定後
初乗り	160円	<u>200円</u>	6,750円	<u>9,000円</u>	5,400円	<u>7,200円</u>

	現行	改定後
基準賃率	43円30銭 消費税5%含む	50円50銭 消費税10%含む

※基準賃率とは、キ口当たり賃率のことで運賃を計算する際の基準となる値です。

C) 主要区間の運賃対比表

	片道運賃	実施運賃	上限運賃
	現行	<u>改定後</u>	改定後
室蘭駅前～東町ターミナル	290円	<u>320円</u>	320円
東町ターミナル～本輪西駅前	250円	<u>340円</u>	470円
東町ターミナル～幌別駅西口	350円	<u>520円</u>	800円
東町ターミナル～工大	250円	<u>280円</u>	280円
登別駅前～白老駅前	550円	<u>800円</u>	1,020円
苫小牧駅前～鷗川駅前	660円	<u>1,100円</u>	1,730円
鷗川駅前～静内	1,040円	<u>1,550円</u>	2,250円
静内～浦河高校前	1,020円	<u>1,400円</u>	2,030円
富川市街～平取	430円	<u>600円</u>	700円
白老駅前～苫小牧駅前	480円	<u>860円</u>	1,280円

伊達駅前～壮瞥役場前	390円	<u>560円</u>	700円
洞爺駅前～洞爺湖温泉	340円	<u>400円</u>	530円
洞爺湖温泉～留寿都	1,070円	<u>1,300円</u>	1,540円
留寿都～真狩～倶知安	1,000円	<u>1,050円</u>	1,600円
喜茂別～京極～倶知安	810円	<u>1,000円</u>	1,340円

※改定後実施運賃は実際に 2025年4月1日以降お客様から収受する運賃額です。

※上限運賃とは、一般乗合バス事業の経営に必要な原価に応じて算出されるバス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※各停留所の詳細運賃や複数の系統を乗り継いで利用する定期券の金額につきましては、最寄りの各営業所または定期券発売窓口にお問い合わせください。

(5) 定期券割引率

・通勤定期券

$$(1\text{ヶ月定期券運賃}) = (\text{片道の区間運賃}) \times 2 \times 30\text{日} \times 0.75$$

$$(3\text{ヶ月定期券運賃}) = (1\text{ヶ月定期券運賃}) \times 3\text{ヶ月} \times 0.9$$

・通学定期券

$$(1\text{ヶ月定期券運賃}) = (\text{片道の区間運賃}) \times 2 \times 30\text{日} \times 0.6$$

$$(3\text{ヶ月定期券運賃}) = (1\text{ヶ月定期券運賃}) \times 3\text{ヶ月} \times 0.9$$

3. 運賃改定に伴う定期券の取り扱いについて

- ・3月31日までにご購入いただいた各定期券は、有効期間内までは差額なしでそのままご利用いただけます。また、4月1日以降利用開始日の定期券につきましても3月31日までにご購入いただくものについては現行の金額で発売いたします。
- ・4月1日以降にご購入の定期券は改定後の新しい料金で発売いたします。
- ・定期券の払戻しについては、現行の払い戻し方法に変更はございません。

4. 廃止する乗車券

●往復券

(令和7年3月31日販売終了、もしくは、在庫がなくなり次第販売終了。券面表示区間内は差額運賃なく利用可能。)

- ・幌別～札幌
- ・室蘭～大谷地
- ・幌別～大谷地
- ・苫小牧～大谷地

●区間指定回数券

(令和7年3月31日販売終了、もしくは、在庫がなくなり次第販売終了。券面表示区間内は差額運賃なく利用可能。)

- ・室蘭～大谷地

・苫小牧～大谷地

●磁気式カード(令和7年3月31日販売終了、もしくは、在庫がなくなり次第販売終了)

・バスカード3000円券

(全線使用可能。使用終了日に定めはなし。払戻終了日令和10年3月31日)

・バスカード5000円券

(全線使用可能。使用終了日に定めはなし。払戻終了日令和10年3月31日)

・昼間カード2000円券

(苫小牧市内線にて使用可能。令和8年3月31日使用終了。

払戻終了日令和10年3月31日)

・昼間カード4000円券

(苫小牧市内線にて使用可能。令和8年3月31日使用終了。

払戻終了日令和10年3月31日)

●乗り放題乗車券

(令和7年3月31日販売終了以降、有効期間内は差額なしでそのままご利用いただけます。)

・おでかけパス

(室蘭市・登別市・伊達市在住の65歳以上の方若しくは運転免許を返納された方を対象に販売)

・熟年定期券

(苫小牧市内線において、65歳以上の方を対象に販売)

5. 輸送人員及び収支状況

		収支状況	輸送人員
2023年度(実績年度)		△541百万円	443万人
2024年度(見込)		△576百万円	459万人
2025年度(見込)	改定前	△510百万円	465万人
	改定後	△278百万円	445万人

※2025年度平年度推計における改定後の輸送人員および収支状況は申請(上限)運賃での推計数値です。

6. これまでの経営改善と今後の取り組み

弊社ではこれまで運行ダイヤの効率化、車両代替え期間延長による投資・償却費の削減、整備業務の内製化などを通じた外注修繕費用の削減などに努めてまいりました。

一方で通学フリー定期券を対象としたスマホ定期券「バスもり」の導入や近年利用が急拡大しているQRコード決済の拡充を図りサービスの向上と収支バランスの見直しに努めてまいりました。

今後はコロナ禍で疲弊した財務の再建、従業員不足対策、物価高対応、インバウンド需要対策に将来を見据えたダイヤの再構築を同時進行で行うと共に、ラッピングバスや新規広告媒体収入の拡大、イベントなどへ積極的に参加し、運賃収入以外の収益確

保や弊社のPRにも努め経営改善を図り事業を継続してまいります。

7. サービス向上に関する今後の取り組み

弊社では現在も多くの方に利用いただいているQRコード決済のブランド追加による利便性向上やスマホ定期券の利用拡大へ向けたサービス拡充を図ってまいります。

バスロケーションシステム「バスキタ！道南バス」を利用した路線や時刻の案内ならびにリアルタイム運行情報の提供やホームページやSNSを活用した情報発信に努めてまいります。

また、異業種とのコラボレーション企画や従来からの地域自治体や関係団体、各町内会や地域のイベントに参加し「バスの乗り方教室」をはじめ「企業説明会」を積極的に開催し利用促進と新規雇用を図ってまいります。

8. 本件に関する問い合わせ先

道南バス株式会社 本社

電話:0143-45-2131 営業部

営業時間:平日 8:50～17:45(土日祝・年末年始は休業)

以上